

09/786876

Attorney Docket No.: 96790P344
Express Mail No.: 1602 Rec'd PCT/PTO

08 MAR 2001

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re the Application of:

MASAHIRO KAWANO, ET AL.

For: **ADVERTISING SYSTEM USING INTERNET -
UTILITY**

Honorable Commissioner of
Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231

Request for Priority

Sir:

Applicant respectfully requests a convention priority for the above-captioned application, namely
Japanese application number 10/253637 filed September 8, 1998.

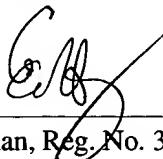
A certified copy of the document is being submitted herewith.

Respectfully submitted,

BLAKELY, SOKOLOFF, TAYLOR & ZAFMAN

Dated: _____

3/8/01



Eric S. Hyman, Reg. No. 30,139

12400 Wilshire Blvd., 7th Floor
Los Angeles, California 90025
Telephone: (310) 207-3800

THIS PAGE BLANK (USPTO)



PCT/JP 99/04878

日本特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

08.09.99

Eku

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

1998年 9月 8日

出願番号
Application Number:

平成10年特許願第253637号

出願人
Applicant(s):

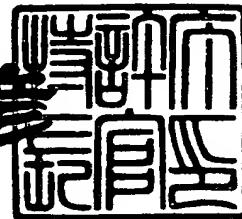
インナーブレイン株式会社

**PRIORITY
DOCUMENT**
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

1999年10月15日

特許長官
Commissioner,
Patent Office

近藤 隆彦



出証番号 出証特平11-3069406

【書類名】 特許願
【整理番号】 980514
【提出日】 平成10年 9月 8日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G09F 9/00
【発明の名称】 インターネットを用いた広告システム
【請求項の数】 3
【発明者】
【住所又は居所】 東京都新宿区新宿2-15-22・S2ビル インナーブレイン株式会社内
【氏名】 川野 真寛
【発明者】
【住所又は居所】 東京都新宿区新宿2-15-22・S2ビル インナーブレイン株式会社内
【氏名】 井上 豊
【特許出願人】
【住所又は居所】 東京都新宿区新宿2-15-22・S2ビル
【氏名又は名称】 インナーブレイン株式会社
【代理人】
【識別番号】 100060025
【住所又は居所】 東京都港区新橋2丁目16番1号ニュー新橋ビル703
【弁理士】
【氏名又は名称】 北村 欣一
【選任した代理人】
【識別番号】 100082315
【住所又は居所】 東京都港区新橋2丁目16番1号ニュー新橋ビル70
3
【弁理士】
【氏名又は名称】 田代 作男

【選任した代理人】

【識別番号】 100092381

【住所又は居所】 東京都港区新橋2丁目16番1号ニュー新橋ビル70

3

【弁理士】

【氏名又は名称】 町田 悅夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100106105

【住所又は居所】 東京都港区新橋2丁目16番1号ニュー新橋ビル70

3

【弁理士】

【氏名又は名称】 打揚 洋次

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012449

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インターネットを用いた広告システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 広告情報発信装置と広告情報受信装置とがインターネット通信網を介して接続された広告システムにおいて、広告情報受信装置内に、予め設定した時間に自動的に広告情報発信装置にアクセスし、広告情報を受信する自動受信手段を備えたことを特徴とするインターネットを用いた広告システム。

【請求項2】 上記自動受信手段は、インターネットに接続されている複数の広告情報発信装置に対してアクセスすることを特徴とする請求項1記載のインターネットを用いた広告システム。

【請求項3】 上記広告情報発信装置は、広告情報を発信する際に自動受信手段の設定を変更する変更情報を送信することを特徴とする請求項1または請求項2に記載のインターネットを用いた広告システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット通信網を利用して、個々のユーザが所有しているコンピュータ等の広告情報受信装置に、メーカー等の広告情報が記憶されているサーバである広告情報発信装置から広告情報を発信する広告システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来よりインターネットによる通信網を利用してメーカー等の企業が一般の個人等のユーザへ広告を行うことが行われている。このような広告システムとしては、例えば、企業が自社もしくは契約した業者の広告発信装置（サーバ）に自社の広告を記載したホームページを開設し、ユーザがホームページにアクセスすることにより広告情報をユーザに提供している。あるいは、ユーザのメールアドレスを企業に登録し、企業側から各ユーザのメールアドレスへ広告情報を電子メールとして配信しておき、ユーザはメールアドレスを設定しているプロバイダに自ら操作して自分宛の電子メールを受信することによって企業からの広告情報を受信

している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

インターネット通信網を利用した上記従来の広告システムでは、ユーザが自ら操作して企業側のサーバにアクセスし、あるいは自分宛の広告情報が配信されているかを確認しなければ広告情報がユーザに受信されることはなく、そのため企業側が送信したい広告情報が、確実に且つ速やかに各ユーザに送信され、広告情報がユーザに確認される保証がない。従って、広告手段として余り効率のよいものではないという不具合を有している。

【0004】

そこで本発明は、上記の問題点に鑑み、ユーザに確実に広告情報を送信し得る広告システムを提供することを課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明は、広告情報発信装置と広告情報受信装置とがインターネット通信網を介して接続された広告システムにおいて、広告情報受信装置内に、予め設定した時間に自動的に広告情報発信装置にアクセスし、広告情報を受信する自動受信手段を備えたことを特徴とする。

【0006】

本発明によれば、ユーザが広告情報受信装置を操作して広告情報を受信しなくても、予め設定した所定時間になると自動的に広告情報を受信するので広告情報が確実に、且つ迅速に広告情報受信装置に配信される。

【0007】

尚、広告情報を発信したい企業等が複数存在する場合には、各広告情報受信装置は各企業毎の広告情報発信装置に順次アクセスし各広告情報発信装置からの広告情報を受信するようにしてもよい。

【0008】

また、例えば自動受信手段に設定されている自動アクセス時間を企業等側から変更したい場合には、広告情報を発信する際に合わせて自動受信手段の設定を変

更する変更情報を送信すればよい。

【0009】

【発明の実施の形態】

図1を参照して、1はインターネットの通信網であり、本発明による広告システムを管理するメインサーバ2と、広告情報を各ユーザに発信したい企業等のサーバ3が接続されている。メインサーバ2は1つでよいが、サーバ3は各企業等毎に複数存在し、各々が通信網1に接続されている。各サーバ3が広告情報発信装置に相当する。一方、該通信網1には個人のユーザが所有しているパソコン4が接続されており、該パソコン4が広告情報受信装置に相当する。尚、41はパソコン4のモニターである。広告情報はサーバ3に格納されており、各サーバ3毎に異なった内容の広告情報が格納されている。パソコン4には図2に示す構成からなる自動受信手段である通信プログラム5がインストールされている。該通信プログラム5は通信網3に接続するための接続プログラム51と全てのサーバ3に対して共通なメインプログラム52と各サーバ3毎に相違するデータ53とから構成されている。例えば、ある企業がテレビやその他のコマーシャルに特定の人物をイメージキャラクタとして利用している場合には、該イメージキャラクタの人物をモニター41上に表示するデータが該データ53に含まれている。また、メインサーバ2や該イメージキャラクタを使用している企業のサーバ3に対して所定時間毎にアクセスするための時間データ等が該データ53に含まれている。該通信プログラム5をパソコン4にインストールすると、例えば図3に示すキャラクタ6が表示される。また、同時にパソコン4は自動的にメインサーバ2にアクセスしメインサーバ2は各パソコン4毎に固有のIDを発行する。該キャラクタ6は図3に示したものでは人物であるが、広告情報を発信したい企業が適宜選択し、例えばアニメーションのキャラクタでもよい。パソコン4に複数のサーバ3に関するデータをインストールする場合、上記通信プログラム5の内、データ53を各サーバ3毎にインストールする。通信プログラム51及びメインプログラム52は各データ53に対して共通であるため1つずつインストールされればよい。尚、キャラクタ6はどのようなものであってもよいが、各ユーザが自発的に自分のパソコン4にインストールしたくなるようなものにすることが

望まれる。ユーザが自分のパソコン4にインストールしたい場合には所望するキャラクタのデータが格納されているサーバ3にアクセスし該サーバ3から通信プログラム5をダウンロードするか、あるいは企業側がCD-ROM等の記憶媒体に通信プログラム5を記録して配布することにより行われる。インストールする際に既に通信プログラム5がインストールされている場合にはデータ53の部分だけがパソコン4に格納される。そして、パソコン4に複数のデータ53が格納されている場合にはユーザはキャラクタ6をクリックすることによりキャラクタ6の種類を選択し切り替えることができる。キャラクタ6が切り替えられると、図3に示すものでは新たに表示されたキャラクタ6と共にデータ53に格納されている広告メッセージを吹き出しの形で表示部61に表示する。該キャラクタ6はアクティブになっているアプリケーションのウインドAPの上部に表示されるように設定されており、常に前面に位置し他のウインドによって隠されない。表示部61は所定時間表示されると自動的に消える。また広告メッセージとして表示部61に企業のホームページのURLを表示してもよく、その場合にはURLをクリックするとパソコン4に予めインストールされているブラウザが立ち上がり企業のホームページにアクセスする。データ53に設定されている所定時間毎に通信プログラム5は自動的にサーバ3にアクセスし、該サーバ3から最新のデータをダウンロードして既存のデータ53を更新する。すると、その後は表示部61に表示される広告メッセージは更新された内容のものとなる。

【0010】

上記通信プログラム5にメールチェック機能を持たせ、定期的に自分宛のメールが送信されていないか巡回し、その結果を表示部61に表示させててもよい。また、企業としては期限を決めて広告キャンペーンを行う場合があり、その場合にはデータ53に使用期限データを含ませ期限超過になるとその企業に関するデータ53のみを使用禁止または消去するようにすればよい。その際、パソコン4の時計で期限超過を管理してもよいがメインサーバ2の時計を基に期限超過を管理してもよい。ところでキャラクタ6にランチャー機能を持たせててもよく、また職場でパソコン4を使用する場合等のためキャラクタ6を表示しないように設定できるようにしてもよい。キャラクタ6は静止画像でもよいが、複数の画像を連続

再生することによりキャラクタ6を動画表示させてもよい。また、表示部61にYESやNO等の応答スイッチを表示させることにより各ユーザに対してアンケート調査することができる。

【0011】

図3に示したキャラクタ6はウインドAPの上辺に座っているが、モニター41の画面の上辺とウインドAPの上辺との間隔が狭くなり、キャラクタ6を表示させるスペースが無くなると自動的にウインドの側辺SLや下辺BLにキャラクタ6を移動させるようにした。

【0012】

ところで、通信プログラム5をより多くのパソコン4にインストールされることがより多くのユーザに広告情報を配信する上で重要である。そこで通信プログラム5をインストールする際にユーザの個人データ等をインプットするように設定し、該個人データをメインサーバ2に送信しておけば個人データを基に占いを行いその占い結果をパソコン4のID宛に送信するという付加サービスを行うことができ、これにより通信プログラム5をインストールしようとするユーザを増やすことができる。

【0013】

【発明の効果】

以上の説明から明らかなように、本発明は、インターネットの通信網を利用した広告システムにおいて、広告情報受信装置側から自動的に広告情報発信装置にアクセスし広告情報を受信するので、広告情報を各ユーザに確実に配信することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施の形態の構成を示す図

【図2】

通信プログラムの構造を示すブロック図

【図3】

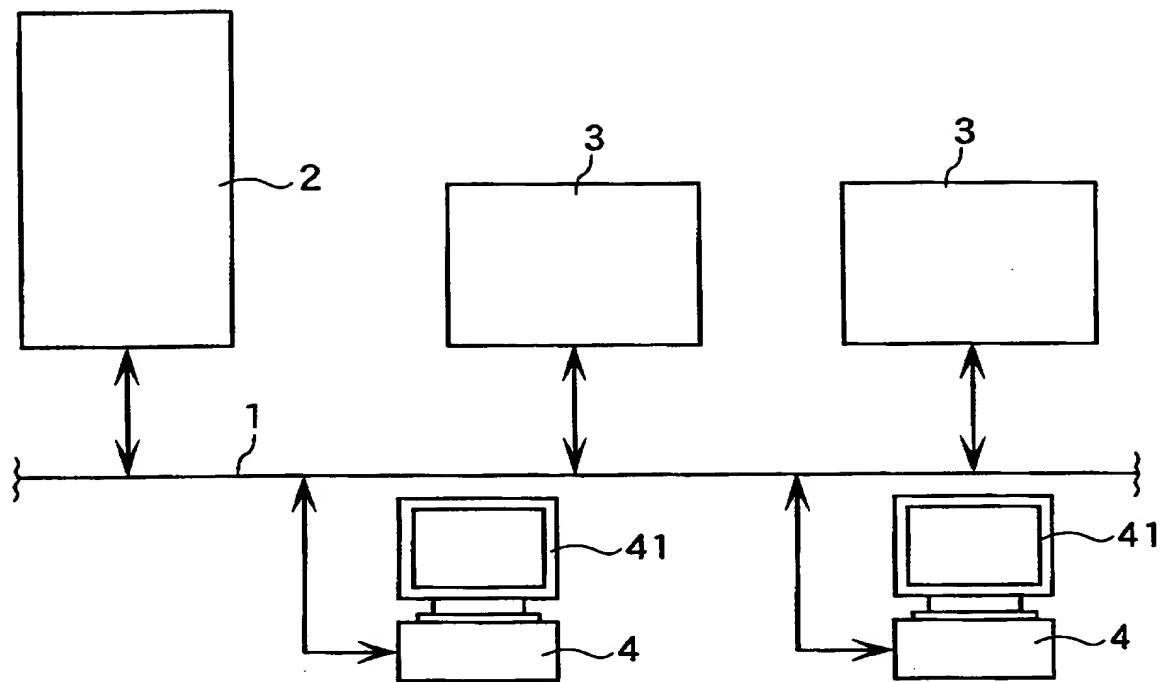
キャラクタの一例を示す図

【符号の説明】

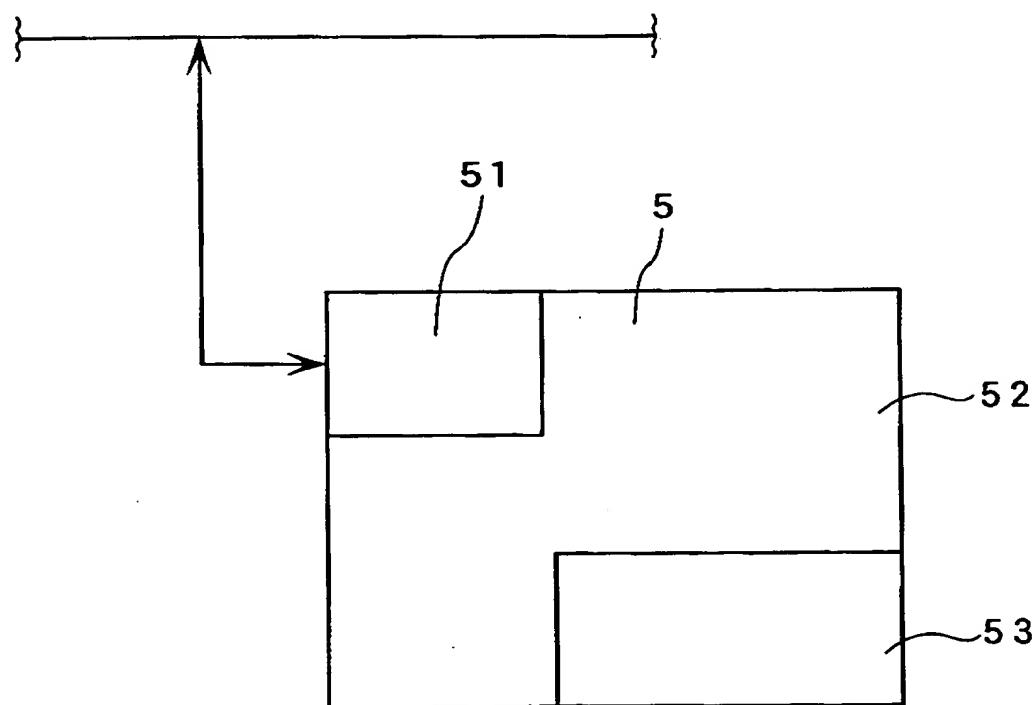
- 1 (インターネットの) 通信網
- 2 メインサーバ
- 3 サーバ (広告情報発信装置)
- 4 パソコン (広告情報受信装置)
- 5 通信プログラム (自動受信手段)
- 6 キャラクタ

【書類名】 図面

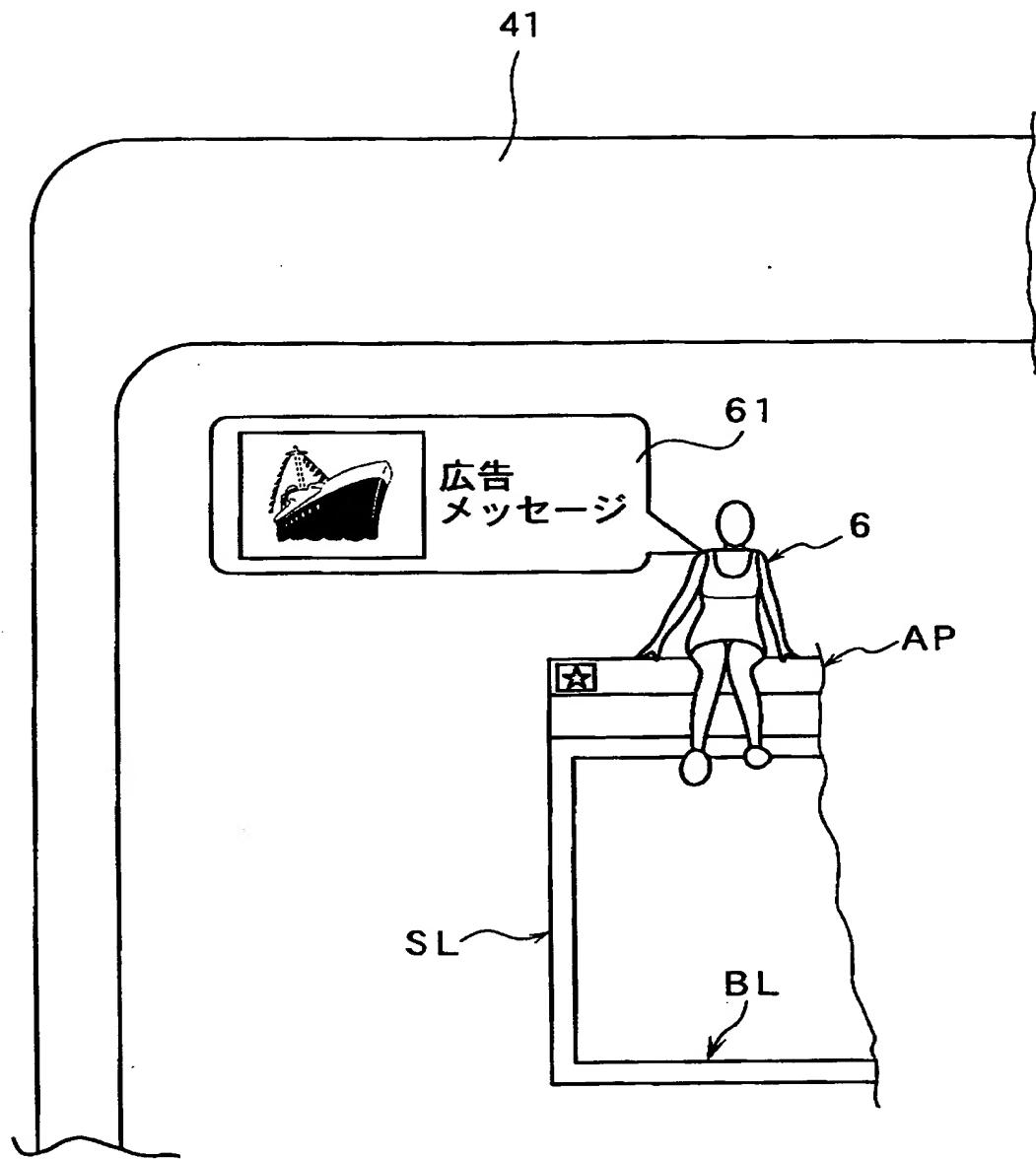
【図1】



【図2】



【図3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インターネットの通信網1を介して企業側のサーバ3に格納されている広告情報を各ユーザのパソコン4に配信するためにはユーザがサーバ3に自発的にアクセスしなければならず、広告の効率が悪い。

【解決手段】 パソコン4に自動受信機能を備えた通信プログラムをインストールさせ、ユーザが操作しなくとも所定時間になれば自動的にサーバ3にアクセスし最新の広告情報をパソコン4に受信するようにした。

【選択図】 図1

【書類名】 職權訂正データ
 【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 598122968

【住所又は居所】 東京都新宿区新宿2-15-22・S2ビル

【氏名又は名称】 インナーブレイン株式会社

【代理人】

【識別番号】 100060025

【住所又は居所】 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル70

3

【氏名又は名称】 北村 欣一

【選任した代理人】

【識別番号】 100082315

【住所又は居所】 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル70

3 北村特許事務所

【氏名又は名称】 田代 作男

【選任した代理人】

【識別番号】 100092381

【住所又は居所】 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル70

3 北村特許事務所

【氏名又は名称】 町田 悅夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100106105

【住所又は居所】 東京都港区新橋2丁目16番1号 ニュー新橋ビル

703 北村特許事務所

【氏名又は名称】 打揚 洋次

出願人履歴情報

識別番号 [598122968]

1. 変更年月日 1998年 9月 8日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都新宿区新宿2-15-22・S2ビル
氏 名 インナーブレイン株式会社